



「まずは会社離れ」
「貯蓄より『貯人』」ほか

「女性」そして「親」としての振る舞い方をアドバイスした著書が、立て続けにベストセラーとなつた坂東眞理子氏(61)。彼女は人生の転機を迎える団塊世代に対して、どのような「品格」を望んでいるのか。社会や地域、妻との関わり方など、二つの提案、を聞いた。

— こう語るのは06年9月発売の著書『女性の品格』(PHP新書)が303万部、07年12月に発売された続編『親の品格』(同)も84万部を突破した坂東眞理子氏(61)。東京大学文学部を卒業し、69年に総理府(現内閣府)に入省。

7か条

坂東眞理子 指特南別 団塊世代の品格

終の棲家は「エン・ブティ・ネスト」
最近の我が家はかなり平穏です。まずはその理由からお教えしましょう。

私は高校の同級生の夫と2人暮らしです。夫は今でも第2の職場で働いていますが、最近は少しづつ、私が家事をした時などに、「ありがとうございます」と口にするようになりました。昔は「掃除が下手」だとか「文句ばかりいっていたんですけどね(笑)」。

日本人の男性は照れがあるためかマザコンなのか、母親に対する甘えと同じよう奥さんに接することが多く、感謝の気持ちを言葉にするのが苦手なのです。

でも、団塊世代の方々は、これからは事あるごとに奥さんには「ありがとうございます」といってください。

私は高校の同級生の夫と2人暮らしです。夫は今でも第2の職場で働いていますが、最近は少しづつ、私が

炊事などの生活
術習得、農業
学院での勉強
「品格」を身に
ける近道とい

